

名張市総合福祉センターふれあいの管理運営業務に係る収支状況(24年度)

(単位:円)

区分	項目	計画額	決算額	内訳等
収入	利用料金収入	4,414,000	4,523,077	ホール等利用料金 3,886,175 駐車場利用料金 279,550 コピー機利用料金 357,352
	賃借料収入	1,169,000	1,247,842	他法人水道光熱 1,217,833 他法人清掃 30,009
	市指定管理料収入	40,500,000	40,500,000	
	受取利息収入	0	5,573	預金利息
	車輛運搬具売却収入	0	5,000	
	社協 自主財源	351,000	0	
	収入合計(A)	46,434,000	46,281,492	
支出	人件費	10,525,000	7,252,514	職員俸給・賃金 4,938,483 法定福利費 857,197 職員手当 1,156,834 退職預金積立金 300,000
	事務費	2,104,000	2,550,410	福利厚生費 22,680 器具什器費 97,650 消耗品費 55,332 損害保険料 10,276 印刷製本費 11,025 租税公課 1,948,895 燃料費 38,849 渉外費 16,012 手数料 315 賃借料 63,122 通信運搬費 226,454 業務委託費 59,800
	事業費	1,899,000	2,317,693	賃借料 844,821 通信(NHK・ケーブル・ネット) 92,195 消耗品費 1,028,184 車輛費(1台) 156,053 水道検査手数料 2,000 器具什器費 72,450 手数料 2,040 損害保険料 19,950 広報費 100,000
	管理費	31,906,000	32,346,313	水道光熱費 14,424,742 業務委託費 15,749,992 修繕費 2,171,579
	雑損失	0	1	2/22現金過不足 1
	修繕積立金	0	1,000,000	
	支出合計(B)	46,434,000	45,466,931	
	収支 (A)-(B)	0	814,561	

平成24年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 健康福祉政策室

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市総合福祉センターふれあい
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 名張市丸之内 79 番地
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	平成 24 年度会議室等利用実績/件数・人数等 1,980 件 (うち有料 1,412 件) 38,867 人 (7,620 時間)
(4) 市支出額	指定管理料 40,500,000 円
(5) 管理運営の状況	①管理施設の使用許可及び利用料金徴収に関する業務 ②管理施設及び設備の点検及び維持管理に関する業務 ③管理施設の電気料等公益費の徴収及び支払いに関する業務 ④管理施設の安全対策に関する業務 ⑤災害時の避難場所提供及び災害対策への協力 ⑥その他の必要な業務

2 事業計画の達成状況

計画区分	達成状況
平等利用の確保及びサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口では、明るく丁寧な対応に努めるとともに、誰が対応しても同じ返答ができるよう、担当課で情報の共有を図った。 ・ 県の「三重おもいやり駐車場利用証制度」導入に伴い、障害者や妊産婦等が利用する「おもいやり駐車場」に登録した。(4か所) ・ 引き続き、年度更新により利用登録団体(利用料減免)の確認を行った。 ・ 自主事業として平成22年度より年1回実施している利用登録団体による環境美化作業を実施し、17団体の参加を得、団体との関係づくりを図った。
施設の効用の最大限の発揮(利用促進、利用者増など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ・社協広報に貸館利用案内を掲載したことで、新規の貸館利用を増やすことができた。 ・ ホール・会議室の利用について、主催者の計画や希望をよく聞き取り、満足度の向上と次の利用につながる対応を心がけた。 ・ 希望日、時間等が希望に添えなかった場合に、他のプランを提案する等の努力の結果、利用者増を図ることができた。(187件増) ・ 当事者団体の増加に伴い、福祉団体事務室利用団体の運用の見直しを行い、新規の当事者団体が利用できるようにした。 ・ ボランティアセンター登録団体が催し等を行うことで、ボランティアルーム以外のホールや会議室の利用につながった。 ・ 名張地区まちづくり推進協議会主催の「隠街道市」へ、ボランティア連絡協議会とも連携しながら参加し、会場の一つとして施設を活用した。 ・ 自主事業の、「みんなで一緒に唄いませんか」(月1回)の対象を子育て中の親子から高齢者までに拡げて開催するとともに、「おもちゃ図書館」(平日週4回、土曜日年6回開館 就学前の幼児・障害のある小学生以下の子ども、保護者同伴)で子育て中の親子の交流の場を提供した。 ・ 介護者サロン「さくら喫茶」の開催により、住民の交流の場を提供し

	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の利用が多いことから、各部屋に消費者被害防止のポスター等を掲示するとともに、窓口でチラシの配布と声かけを行った。 ・ サービス向上のため、利用者のご意見・ご要望を投稿できる「ご意見箱」を設置した。
施設の適切な維持管理及び経費縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経年劣化による機器の故障や施設の汚損が多くなってきたため、危険度や重要度を考慮し、優先順位をつけて、順次補修等を行った。 ・ 水道光熱費については、引き続き、館内事業所の協力も得て夏期使用電力の制御（デマンド監視）を継続して行った。また、各部屋に温度・湿度計を設置して全館に節電を呼びかけた。
管理を的確に行う人的構成（組織体制等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 甲種防火管理講習修了者 3名 ・ 電気保安講習会修了者 4名

3 施設設置者（名張市）評価

管理協定書にもとづき、適正に管理運営されている。
 今後も、利用者から寄せられる意見等を参考にしてサービス向上に努力されたい。